



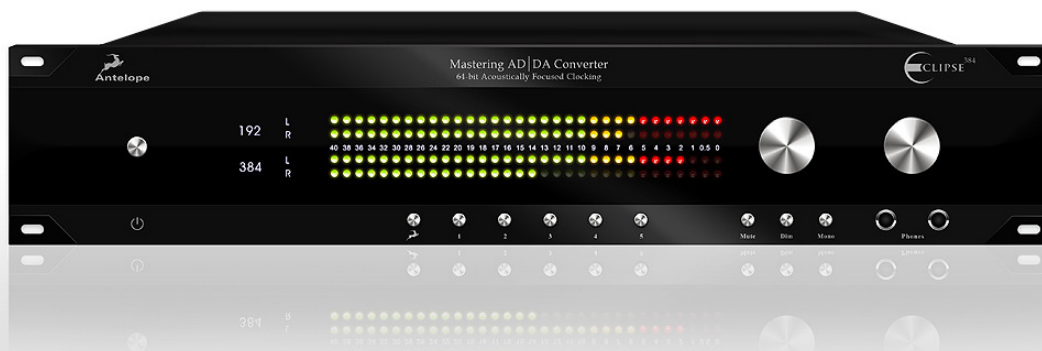
PRESS RELEASE

**アンテロープ・オーディオ社は、マスタークロックとモニタリングコントローラーを 2U のラックサイズにまとめた、384 kHz 対応 A/D & D/A コンバーター「Eclipse 384」を紹介。**

**東京 - 日本 12月01日2011:** アンテロープ・オーディオは、Eclipse 384 の発売を発表

この世界に先駆けた多機能のデバイス=Eclipse(エクリプス)384 は、アンテロープが誇る 64-bit テクノロジーによるクロッキング技術によって 384 kHz A/D & D/A 変換を制御、更にパワフルかつ柔軟性に富んだモニタリング・コントロールも搭載しています。

Eclipse 384 は 2011 年 10 月、ニューヨークで開催されたオーディオ・エンジニアリング・ソサエティー(AES)コンベンションで公開され、“ベスト・オブ・ショー”を受賞、のちに音楽業界で有力な出版社2社からも“ギア・オブ・ザ・イヤー”の評価を受けました。



「Eclipse 384 の背景にある哲学は、アリトテレスの『全体は部分の総和に勝る』という格言である。」とアンテロープ社の CEO で、創業者でもあるイーゴア・レービン氏は説明します。

「この装置はわが社が最も得意とする 64bit-AFC (Acoustically Focused Clocking) や、オープン・コントロールによるオシレーター、高解像度 USB ストリームなどの技術革新に、次世代の変換技術と電源回路技術を融合させた製品である。」

## **Eclipse 384 の内部**

Eclipse は、“トリニティー”同等の 64 ビット高精度クロックにより制御された 384kHz A/D & D/A コンバーターを独立2系統搭載しています。完全統合されたモニター・コントローラーには正確に 0.05dB を刻む金メッキ仕様のステップ・リレー式アッテネーターを採用。更にスピーカー一切



## PRESS RELEASE

替えスイッチ、LFE コントローラー、トークバックが内蔵されたキューミックス、2つのヘッドホン専用アンプ、カスタム USB インターフェイスを搭載し、フロントパネルには2つの大型ピークメーターが備えられています。

Mac & PC 対応の進化したソフトウェア・コントロールパネルでは、5つのユーザープリセットが記憶できます。お気に入りのセットアップに名前を付けて簡単に呼び出すことを可能とします。Eclipse 384 のユニークなデュアルドメイン・クロッキング・システムは、アナログベースでより自然に聞こえるサンプルレート変換を可能にします。

統合されたパッチング／ルーティング機能は、アナログとデジタルソースのモニタリングを極めてシンプルにし、ジッターやディストーション、ケーブリングノイズを回避します。また、多くの入力・出力段や電源回路を省くことで実質的にノイズフロアは格段と下がり、オーディオの質は著しく向上しています。

「この 2U-box は、別々のハイエンド製品5台で同等の機能を組み合わせるよりも簡単で、なおかつ性能も優れています。これは、極上のサウンドクオリティーと最大の効率性を熱望するオーディオエンジニアをターゲットに開発しています。」と、イーゴア氏は付け加えます。「ユーザーは単にプリセットボタンを押すだけで、多くのセッティングを完全に再構成することができる。スタジオ内で走り回ったり、多くの装置の膨大な数のつまみを回す一連の動作を、これによって省くことが出来るのです。」

Eclipse はライブ環境にも適しています。近年ではライブやイベントでもデジタルコンソールやレコーディング機器にマスタークロックを接続するのが一般的になっています。Eclipse384 を1台使用するだけで、ライブサウンドエンジニアはメインの D/A コンバーターを下地に、A/D コンバーターの豊富なデジタル出力からは複数のレコーディング機器へ、そしてモニターDAC はポスト A/D 変換のチェックに使用しながら、更に最大4つの異なる機器にシンク・リファレンスを供給することまでもが可能で。現在アンテロープ社は Eclipse 384 の事前注文を受け付けており、発送は2012 年の最初の三ヶ月内を予定しています。すでに注文された製品は 2011 年末前にスタジオに到着します。



## Eclipse 384 の機能

### クロッキング

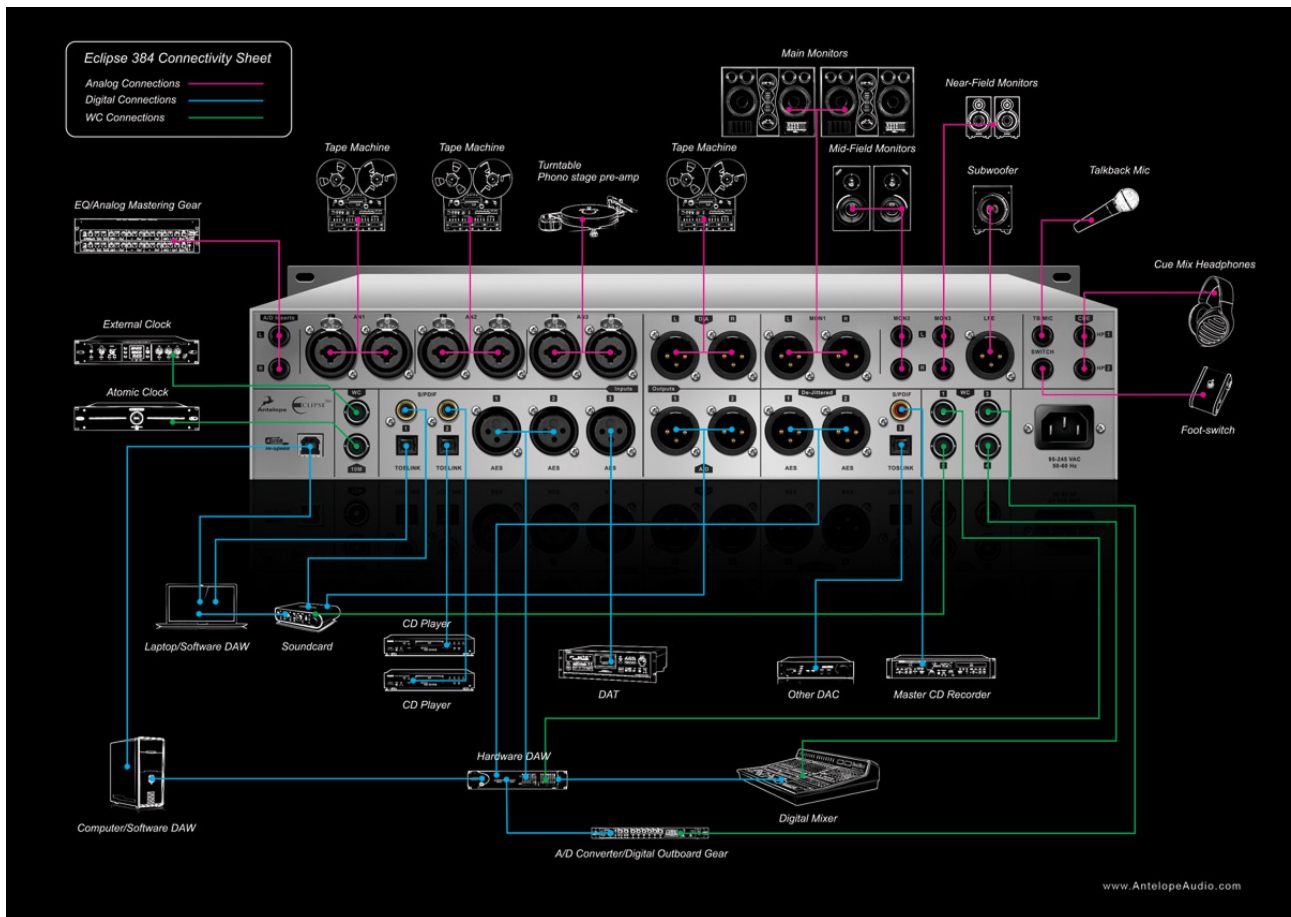
- ・ 64bit DSP “トリニティー” 同等の高精度クロックを搭載
- ・ オープン・コントロール・オシレーター採用
- ・ 2つの独立したサンプルレート
- ・ 工場出荷時  $\pm 0.001$  ppm 以下にまで校正された安定性
- ・ バリスピード ( $\pm 200$  セント)
- ・ 10M アトミック・クロック入力端子

### コンバージョン

- ・ 384 kHz A/D & D/A コンバーター
- ・ 124 dB のダイナミックレンジを備えた A/D コンバーター
- ・ 129 dB のダイナミックレンジを備えた D/A コンバーター
- ・ バーブラウン製 D/A 変換チップ採用
- ・ 2つの A/D インサート(バイパス可)
- ・ カスタム USB2.0 チップ(最大 480 メガビットのストリーミング対応)

### モニター

- ・ 3セットの切り替え可能なモニターアウト
- ・ モニター専用のセカンド D/A
- ・ LFE アウトプットと低音コントロール
- ・ 精密な入出力ピークメーター
- ・ トークバックとキューミックス機能
- ・ 0.05dB の精度を実現するステップ・リレー式ボリューム・アッテネーター



## アンテロープについて

アンテロープ・オーディオ社は、伝説のアードシンの開発者、そしてデジタルオーディオ、シンクロニゼーションの分野で多くの技術革新をもたらした事でも知られるイーゴア・レービン氏の発案により生まれました。イーゴア氏は 2004 年に、レコーディングと音楽鑑賞をより高度な水準に引き上げる事を目的としてアンテロープ・オーディオ社を設立。家庭環境からレコーディングスタジオまで、より多くの人々がより質の高い音を得られるよう、アンテロープ・オーディオ社は日々研究開発に努めています。

アンテロープ・オーディオ社はオーディオマスタークロックにアトミック・クロッキングを採用する技術の先駆けとなりました。アンテロープ社の所有技術である 64bit- AFC (Acoustically Focused Clocking) テクノロジーと独特のオープン・コントロールの融合は、プロのスタジオやマスタリングスタジオのいわゆる「高音質の基準」と言えるでしょう。アンテロープ・オーディオ社には2つの製品ラインがあります。一つめのライン=(Integrity)はオーディオ愛好家とプロを対象とした USB 対応の D/A コンバーターであり、もうひとつのライン=(Isochrone)は、オーディオとビデオ制作現場のためのマスタークロックとシンクジェネレーターです。さらに詳しい情報については本社のウェブサイト [www.antelopeaudio.com/jp](http://www.antelopeaudio.com/jp) をお訪ねください。

### CONTACT (Japan):

**マイケル・J・ディスタシオ**

マネージャー: 日本事務局

**アンテロープ・オーディオ・ジャパン**

P: 03-4588-8782

F: 03-6730-9663

E: [MichaelD@AntelopeAudio.com](mailto:MichaelD@AntelopeAudio.com)

W: [www.antelopeaudio.com/jp](http://www.antelopeaudio.com/jp)

### DISTRIBUTOR (Japan):

**田中 靖**

プロダクト マネージャー

**株式会社 フックアップ**

P: 03-6240-1213

F: 03-3837-3123

E: [yt@hookup.co.jp](mailto:yt@hookup.co.jp)

W: [www.hookup.co.jp](http://www.hookup.co.jp)